



豊橋演劇鑑賞会会報 ●発行2008年3月28日(金)

サークルを基礎にした民主的な会員制をみんなの手で発展させましょう！



私にとって「鑑賞会」とは？

運営サークル会の席上、あなたにとって、「演劇鑑賞会」とは？ということが話題になった。

Iさんは、「空気のようなものだ。」と即座に答えた。同感した者の一人として私にとって「演劇」が、「鑑賞会」がどうして「空気」のようなものになったか、改めて考えてみた。

演劇との出会いは、母に連れられ、「東雲座」で歌舞伎をみたということらしい。全く記憶にないのだが、その時花道に出て一人踊っていた、ひき降ろすのに苦労したと母からきかされた。

その後、子供会、中学校の文化祭、青年団と芝居をやったことが下地として大きく影響しているのではないだろうか。

就職してすぐ名演に加入、岡崎労働を経て、豊橋市民劇場、豊橋演劇鑑賞会に席をおき、40年以上も演劇をみつづけてきた身であれば演劇鑑賞が生活の一部になりきってしまったのだろう。

その「空気」が昨年12月、激しく震えた。会員の減少だ。この時は「空気」の存在を強く意識した。なくてはならない存在であることを。

明治、大正、昭和と生きた祖母が、豊橋に水道が敷設されるときいて、「これからは水を買って飲むんだって」と驚きなげいたそうだが、我々も「空気」を高い金で買って呼吸するようなことにしてはならない。

「空気」を再認識した次第である。

(白木連・Z)



ケイタイでんわの電源は切りましょう！

喜劇

嫁も姑も皆幽霊

池田政之作『青時雨おつる頃』より

スタッフ

作・演出	池田 政之
美術	野村 真紀
衣裳	菊田光次郎
音響	小林 史
照明	古宮 俊昭
舞台監督	竹内 一貴



あらすじ

四代続いた和菓子屋の若旦那水澤圭輔。今は売れっ子恋愛小説家。十八歳も若い妻をもらってウキウキ気分。
 そこへ先妻の幽霊が現れた。「嫉妬して出てきたのか!」
 「まさか。お義母さんよ。」
 私はあの世でも姑の苦勞をしてるのよ。「そう言って息抜きさせてと、居座ってしまった。そこへ母の幽霊も現れた。ニッコリ微笑んで、
 「あら、嫁が二人になったのねウフフフ!!」
 さあ、てんやわんやの大騒動が始まった。

笑って 泣いて 感動して。

爆笑の

人情喜劇の決定版。

3月28日(金) 6:45開演

3月29日(土) 1:30開演

上演時間

2時間25分

豊橋勤労福祉会館
(アイプラザ豊橋)

水澤家 & キャスト

相関図



音無美紀子



鳳八千代



木村有里



眞継玉青



田村 亮



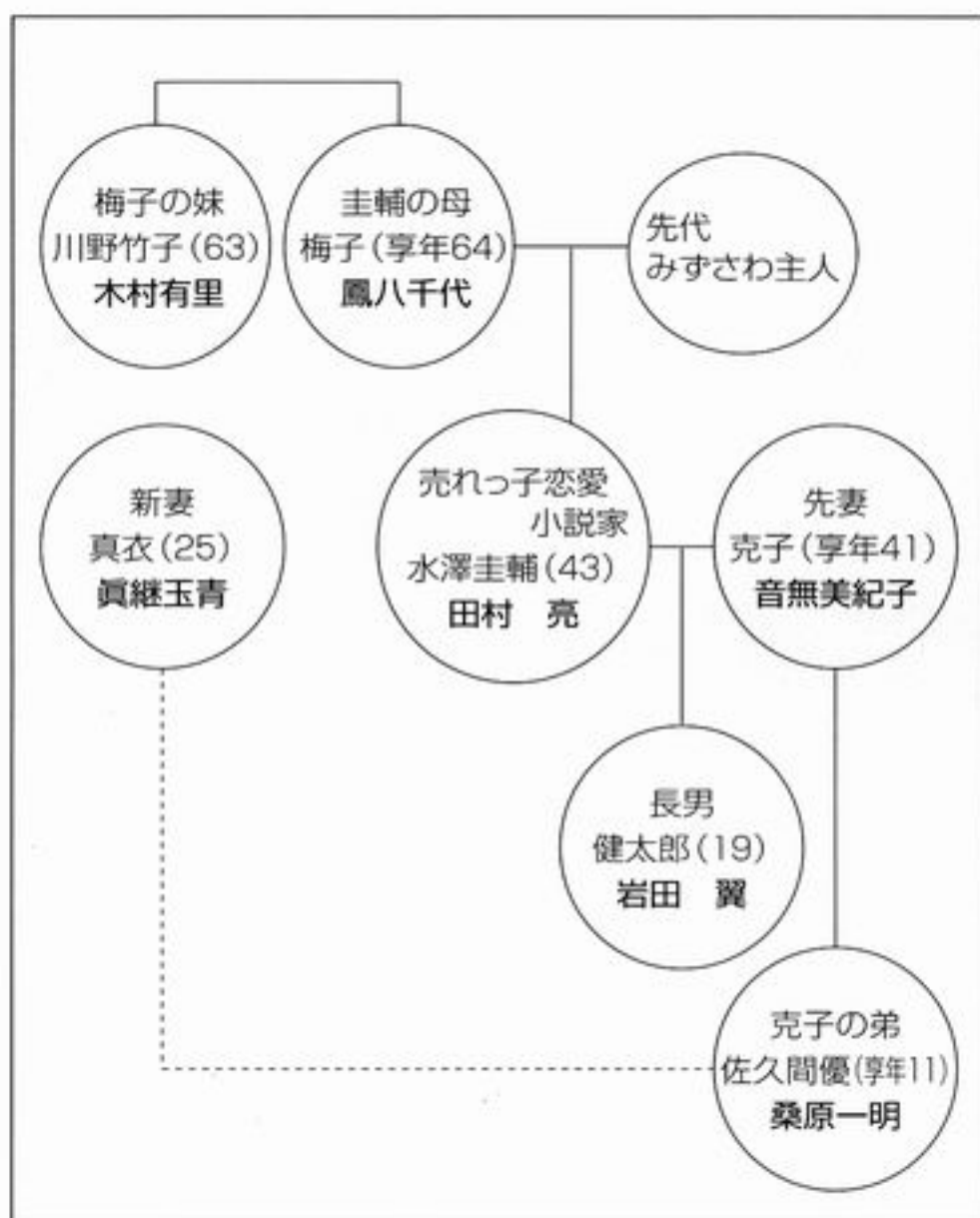
川端 横二



平松 慎吾



岩田 翼



川島一平



加納健次



渡辺陽子



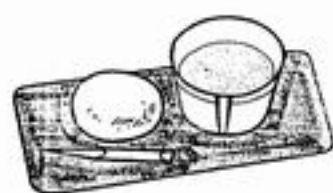
山田登是



山田敦彦



葛城ゆい



瀬田吉史



宮本夕莉



弓澤公望



桑原一明

作品について

家族には出会いもあり、別れもあります。それは結婚であったり、就学であったり、永遠の別れ、死も訪れます。一つ屋根の下で暮らす期間は意外に短いものかも知れません。

これからの社会は、核家族化は一層進み、隣近所の顔も分らない時代となってしまうのでしよう。しかし、まだ今は都会でも近所や家族の関係が、優しく潤いのある関係として残っているとところもあるようです。今回のドラマは、そんな今時少なくなつた家庭の、でもちよつと現実には起こらない現象？を扱ってみました。

ニュースでは、目を覆いたくなる悲惨な事件や、なぜ、何のために行なわれたのか考えられない犯罪が報道されています。

こんな時代にホツとする、優しさが伝わるコメディを、お届けしたいと思います。笑いと涙と優しさと潤いをプラスして、お送りします。

(パンフレットより)

(しでこぶし・加藤)

足摺岬

あしずりみさき

原作 田宮虎彦
脚本 堀江安夫
演出 袋 正

遙か四国最南端の地にたどり着く、

黒潮打ち寄せる急峻の岬、宿命の地に

あしずり

昭和八年、時代は昭和恐慌の余波いまだおさまらず、暗い世相を反映する事件が続いていた。この年、日本は世界の非難を受けながらも国際連盟を脱退孤立への道を行く。

多くの人々は長引く不況に喘いでいた。帝大生の間宮は肺の病におかされながら自らの力で生活していた。しかし隣室の少年の自殺、母の死などが重なり絶望の淵に追いこまれる。彼は命を経つために東京を離れ四国最南の地、清水へと向かった。そこには八十メートルの断崖を擁し、絶えず怒濤が打ち寄せてくる岬があった。投身者は、けつして姿を見せないと聞いたことのある足摺岬が。

間宮は「諸国商人定宿清水屋」と書かれた遍路宿に投宿することになった。

死と向き合う間宮はやがて同宿の老遍路、薬売や宿の主人おちせ、娘の八重らの優しさにふれる……。



キャスト

浜田寅彦
遠藤 剛
渡辺 聡

他

5月23日(金) 6:45開演

5月24日(土) 1:30開演
(2ステージ)

豊橋勤労福祉会館

愛知県豊橋勤労福祉会館（アイプラザ豊橋）

の存続が決まりました！

49000名の署名が大きな力に・・・

会員の熱き思いが存続への道を開く！！

2012年3月末までは、愛知県が管理、運営し、同年4月以降は、豊橋市へ移管し、運営していくことが決まりました。

存続が決まった豊橋勤労福祉会館

新聞報道等ですでにご存知のことと思いますが、3月の愛知県議会において、副知事が豊橋勤労福祉会館の存廃問題についての質問に対して、会館の廃止時期を3ヶ年延長して、2012年3月末までとし、同年4月以降は、豊橋市に移管することを明言しました。それを踏まえて来年3月末で廃止が予定されていた豊橋勤労福祉会館の存続が決まりました。

この問題が浮上してから3年になりますが、その間に、演劇鑑賞会など市内の文化団体で「豊橋勤労福祉会館の存続を求める市民の会」を結成し、ここが中心となって「存続を求める」署名活動を進めてきました。そして、07年に11月には4万9000名分の署名を県に届けました。それ以後、愛知県知事選挙においてもこの問題が取り上げられ、「存続か、廃止か」が争点のひとつになりました。1500名収容のホールを持つ公共施設を失うことは豊橋市のみならず東三河地域における県民・市民の様々な活動に大きな痛手を与えることが市民の間に理解され、存続への要望が広がっていきました。豊橋市も豊橋市議会も「存続」で一致し、市内の多くの文化団体からの協力、劇団・創造団体、全国の演劇鑑賞団体からの協力も頂き、市民の声をひとつにすることができました。一人ひとりの力はほんの小さ

なものですが、思いをひとつにして手をつなぎ、共感する人の輪を大きくしていけば、それが大きな力となり、私たちの大切な活動の場を守ることができたのです。存続が実現できたことを会員みんな喜び合いました！

今後の課題としては、耐震工事は、愛知県が行うとしながらも、オープンしてから35年経っている施設でもあり、老朽化している部分も多々あります。すでに昨年の12月に、同館内のレストランは閉鎖されてしまいましたし、施設をどのように保全し改善していくのか、検討する部分は残されています。さらに、豊橋市に移管された

場合の施設の性格と利用方法などについて具体的な内容が明らかになっていないこともあり、今後の課題といえましょう。

豊橋勤労福祉会館が今後どのような施設として存続していくか、これから多くの市民の声やアイデアを市に届けていくことで、施設の新しい展望がひらけてくるのではないのでしょうか。オープン以来、ともに歴史を歩んできた文化団体として、運営や利用方法などについて、今後も積極的に要望、提言をしていきたいと思っております。存続運動、署名活動へのご協力、本当にお疲れさまでした。

幹事会

今後の豊橋勤労福祉会館のあり方

- * 会館は、2012年3月末まで愛知県の管理・運営で続け、その間に耐震工事も愛知県が行っていく。また、同館の宿泊施設については、2009年3月末で閉鎖する。
- * 2012年4月以降は、管理・運営が豊橋市に移管される。その場合、これまで通り県民が自由に使えることなどを条件に豊橋市に施設を無償譲渡し、土地については無償貸与する。

2400名をめざそう サークル大交流集會を開きました!

3月1日(土)に豊橋商工会議所3階ホールにおいて「2400名をめざそう!サークル大交流集會」を開きました。'07年度の最終例会を前に、現在の鑑賞会の現状を知り、将来の展望についても話し合いました。参加は72サークル91名で、大いに盛り上がりました。駅南に仮に800席の演劇を主体にした「芸術ホール」ができた場合、3ステージを健全な財政状況のもとでやっている



くには、最低でも240名が必要であり、素敵な演劇空間で観ているために目標を話し合いました。その後、5つのグループに別れて、コーヒーを飲みながら、分散会の中で、鑑賞会のすばらしさやそれぞれのサークルの現状を交流し合いました。

分散会も盛り上がる

参加した91名が5つのグループに分けてサークル交流をしました。これまで小グループにわかれて話し合ったことがなかっただけに、全体で話し合う時よりも、出席したサークルの思いを率直に語り合う場になりました。第一回例会から入会して30年以上観続けている会員からつい最近入会した人まで、鑑賞会への思いや入会を勧める難しさなどがいっぱい語られ、話の花がそこかしこで咲き乱れました。自分たちの会なんだと思ひ、

演劇文化を自分たちの生活に根づかせていく第一歩として、サークルの交流の場をつくっていくことの必要性を実感した話し合いでした。川端楨二さんのお話も例会への期待がもてました。

NLTの代表で俳優の 川端楨二さんの楽しいトーク

今回の『嫁も姑も皆幽霊』に源さん役で出演される劇団NLT代表で俳優の川端楨二さんに劇団について、作品の魅力についてお話ししてもらいました。

豊橋は200名ギリギリのところですが、今日の交流会の模様を聞いていまして、元気いっぱいなので、たぶん200名は大丈夫でしょう。5年以内には800名のホールもできるとお聞きしました。この規模のホールは、コメディイを上演する劇団としては理想的で、完全3ステージをめざしてほしいと思います。

NLTは、文学座から別れた劇団で、作家の岩田豊雄先生が、



新文学座という意味のラテン語で「ネオ・リテラテール・テアトル」の頭文字をとって命名されました。初演は三島由紀夫さんの「鹿鳴館」です。その後分裂問題があり、女優の賀原夏子さんが率いて、フランスのコメディイ劇を主に上演しながら今日に到っています。コメディイ路線を続けて今年で40年になります。コメディイは、俳優の演技ではなく、観客自身のイメージで笑えるんです。今回のお芝居も笑って泣いて、ハンカチを2枚用意して来て下さいね。

城所安男役 米山 実さんへのインタビュー

今回は主演の城所安男を演じておられる米山実さんにお話しを伺いました。

Q 豊橋の印象はいかがですか？

(A) 皆さん集中して観ているという感じがします。真剣に見ているのがやっていてひしひしと感じます。内容がまた身近に感じるせいもあると思います。

Q 服がだんだんよれよれになっていくのがとてもよく見えました

なく、とてもやり易いです。

Q 文化座に入るきっかけは何ですか？

(A) 麻の素材を使っているのが、最初はちゃんとしていても動いているとそうなっていくように見えるようです。セットと一緒に、この芝居のセットはかなり抽象的ですよね、ただのパネルが病院にみえたり、海に見えたりして、お客さんがどんどん2時間半の中で想像していったイメージの中で見えてくるものだと思います。芝居の役とかもその中で入り込んで観てくださると時間の経過とともにイメージされていくので、そういうふうに見えてくるのでしょうか。途中で衣裳を替えてるわけではない

です。

Q 佐々木愛さんとの共演はどんな感じですか？

(A) もちろん劇団トップの座長なので立場は違いますが、板の上を立てば別です。先輩も後輩もなく、役として対峙しなければならぬ真剣勝負の場なので、入って一年目や二年目なら大変ですが、私は90年に入ってから何回も共演していますから今は特別に緊張することもなく、変に気を使うこともなく、とてもやり易いです。

(A) 学生の頃に「お芝居をやりたいな」と思って、研修所で勉強している時に、翻訳劇がピンとこなかつたんです、観てもやつても「ハイッ！ジョニー」なんてやつてもしっくりこなかつたんです(笑)。自分がやつても血肉化できないんですね。「自分がやるにあたってはどうもそっちではないな」と感じたんです。そのとき日本人が書いた日本語の芝居をやっている劇

団があるぞ、それは文化座っていうところだというのを聞いたんです。日本人の日本語というところにこだわっていきたいと思ったからです。でも、文化座も10年に一回くらい翻訳劇やるんですよ、たまにね。私が入った時の文化座は「暗くて、重くて、まじめで：百姓とか、おりき、荷車：」のイメージが強くて、今でもそうかもしれないんですが、でもこの10年くらいでちよつとずつ変わってきています。この「天国までの百マイル」

が全国展開できたというのは大きいんです。劇団の根底の理念はかわりません。モットーは「地から沸く演劇」です。おりきに代表されるような庶民に根差したものの、一人のヒーローがいる芝居ではなく、光のあたらない人に光をあてたようなものです。この作品もそういう意味で少しも理念からはずれていません。うちならではの作品だと思います。

Q 役者になる時に憧れた俳優とかはいましたか？

(A) 7割くらいの人は憧れの俳優とか芝居にみせられて役者を志すみたいですが、私の場合は先にや

る喜びを感じてしまったんです。中学の時の文化祭で映画を撮ることになって自分は演じる役にまわってそれが面白かつたんですね。それがきっかけで芝居をやりたいと思つたんです。だから特にあの俳優を目指そうということではなかつたです。

Q これはやってみたい役はありますか？

(A) 具体的にはないです。何でもやりたいし、どんな俳優を目指すというより何でもできる俳優になつていきたいですね。今回の役はいままでやった役の中でも気に入っています。役者はいろんな人間の疑似体験ができて楽しいですね。

運営サークルを代表して萩本、稲垣、加藤の三人と事務局新木で、お忙しい中を押し掛けて行き、楽しいお話を聞きました。大変ありがとうございました。

GBE 加藤





『福の神』のような人

ドリーム 後田壽子

とても良かったです。原作を読み終えた時もジワーとききましたがもう涙ウルウルでした。マリさんのような良い人いるんでしょうか。落ちぶれた人を精一杯愛して、食べさせて、離婚した妻子への仕送り分まで出して、それで安男が幸せを掴みそうになると、自ら行方を暗ましてしまうなんて……。

舞台が、お母さんに乗せた車がトンネルの中を走っているシーンから始まり、その経緯やマリとの一悶着らしの様子、病院での病室と主治医の説明など、左右で場面を浮かびあがらせて展開する演出は、テンポが良く、明快でとてもわかりやすかったですね。

「医は仁術」を地で行くサンマルコ病院が実在すると知り、福の神のようなマリさんも実在すると確

信しました。佐々木愛さんのマリさん役、好演でした!!

役者魂

スコピオン2 M

「可愛い」佐々木愛さんが登場した時、さすが女優さん！役づくりはすごい！年齢的な違和感を少しも感じさせず自然に観ることが出来た。また、安男役の米山実さんが光っていた。人の心の悲しい一面とやさしい一面を現実と舞台の狭間での熱演する姿は感動でした。いつまでも輝く舞台を続けていけるように応援します。



天国までの百マイル感想

紙芝居 山本愛子

親子の愛の物語かと思ったら、そうでもなくハッピーエンドでした。まりさんはいい女でしたね。一緒に居続けることは出来ないのに好きって……。相当ほれてるんですなあ。あんな人になりたいと思った今回でした。



感動をありがとう

スコピオン3 中山

「天国までの百マイル」を観劇されて、感動されなかった方は居なかったのではと思うくらい、素晴らしい舞台でした。

特に昨年母を亡くした自分にとっては、安男と母とのやりとりを見て、自然に涙が出てきました。豊橋と大阪では百マイルよりは遠いが、現代ではほんの2、3時間くらいで行ける距離です。

元気な時も含め骨折、手術から病院生活を余儀なくされ、亡くなるまでの間など充分な見舞いが、出来たのか……。舞台でもあった、手や足をもっとさすってあげていたらなど、涙くみながらしばらく次々と思い返され、ポーと見ていた瞬間もありました。本当に感慨深い観劇となりました。ありがとうございました！感動をありがとう！

天国までの百マイルを観て

藍 鎌倉一子

なにもかも失った安男に、立ち直ってほしい一心で、命を託す大きな母の愛とマリが無償の愛に勇気づけられ安男は再起を誓い、別れた家族のもとにもどっていきました。安男を変えた二つの大きな愛に、私の母の姿をだぶらせて観ていました。私の母は認知症という病に侵されながら、主人に「お母さんを大切にしてくれ。かわいがってね。」と頼んでくれる母の愛を思いながら感動が胸いっぱいひろがっていきました。

あげまんマリ

スコピオン3 後藤一男

期待通りの舞台であった。原作を読んでから「どの様に舞台化されるのか……」楽しみにしていた。数枚の大きな引戸が効果的に使われ、暗転時間ゼロでテンポ良く進んだ舞台であった。そのため集中が出来て、2時間半が短く感じられた。

ラストの場面は、舞台の方が原作より、ていねいに描かれてドラマティックであった。

デブのマリーを演じた佐々木愛さんは、しっかり衣裳を着込んでその体型をつくっていた？

「大丈夫……良くなるよ……」きつとまうまう行く……。明るく大きな声でいつも言われたら、男も

だんだん自信が付くものだ。「マリは、あげまん……」見終って強くそう思った。

やっぱり泣けました。

あくみ

原作を以前読んで、そんな病院あるのだろうか、小説の中の話だろうと思っていました。ところが、演劇講座で有賀さんのお話を伺って、実話に基づいていて、亀田病院は本当に有るのだと知りました。ビックリ。

マリさんという女性も実在の人なんでしょうか。原作の中の印象よりも劇の方が、ズツと存在感がありました。

結末は暗いわけではないので、今回は泣かないつもりでした。でも、観ている内に引き込まれて、我家の末息子の顔が浮かんできたりして、つい目が潤んでしまいました。浅田次郎の作品は人間の弱いところをよく見ているんですね。



天国までの道程

トモダチ 石川ひとみ

人が生きていく上で、とても力を頂いた舞台でした。親子の絆、男女の絆を見事に演じられてとても感動しました。特に米山実さんの役者振りに感動しました。

人として大きな愛を持てるように、明日を信じられるよう、生きていきたいと思いました。

ですがまあ、水島マリのようない観音菩薩のようには多分なれないでしょうが、世の殿方は大いに望んでいるのでは？

すばらしい感動を

ありがとうございます！

四ツ葉のクローバー 向坂康代

このお芝居は観る前からとても楽しみにしていました。それは以前に事務所でお芝居の内容を聞いていたからです。

今、我家でも86才になる義母と同居しているし、実家にも84才になる母が居ます。お陰で今のところ二人とも大きな病気もせず、無事毎日暮らしていますが、この介護問題は遠からず直面せずには通れません。

安男がお母さんを想う気持ち、マリが安男を想う気持ち、胸が熱くなりました。とても上手に表現されていたと思います。

私も母達に安男の様に、悔いのない世話が出来れば良いのですが！

ひどい人生だったけど、

悪い人生じゃない

タッチ 峯村静江

天国までの百マイルを見終った後、心の中がほんわりと温かくなり、人生って悪いもんじゃないなという気持ちになった。

佐々木愛さん演じる水島マリの「ありがとうございます」と人に感謝しながら、どんな環境でも前向きに生きていく姿に何度も涙しながら、現代を生きるマリアを見た。人の気持ちをつなぐ、温かい人と人とのつながりを見られてすがすがしく、友人と「良い作品が見られてよかったね。」と話し合った。

家族、人との関わり

マキシム 鈴木

印象に残っているセリフは安男が母に冷たい兄たちを批判した時母が言った言葉「悪くないんだよ。」やっぱりこれが母親なんですね。

そして、やはり、佐々木愛さんのマリ。心の温かなそして力と勇気を与えてくれるやさしい女性。いつも貧乏くじをひいている女性でしょうが、マリのようにないななんて思ったりしました。

演劇を鑑賞するようになり3年目になります。演劇は笑い、涙ありの人生そのもの。今回はアツという間に時間が過ぎてしまいました。充実した時間でした。次回も楽しみにしています。

運営サークルのページ

第203回例会

劇団文化座

「天国までの百マイル」

例会日

1月18日(金)
1月19日(土)

運営の感想

楽しく参加しました。

あくみ

今回、シール作りと座席指定の作業に初めて参加しました。日付のゴム印を押す事に慣れて調子よくなる頃にはもう終了でした。座席指定の作業は間違えるといけないと緊張しましたが、作業手順がうまく考えられていて、思ったより短時間で出来上がりました。楽しかったです。

次回は他の係にチャレンジ

ゆみはり 山本

会に入って2回目の運営参加をしました。2回共受付の担当でした。駐車場担当の方と同席して、寒い時期担当の男性は慣れて居るから平気ですと笑顔でした。駐車場、受付、道具搬入、花束等々大勢の参加で例会運営がなされているのを再確認し、参加できて嬉しく思いました。次回は受付以外の担当も経験したいと思っています。

バックステージツアーに参加

スコビーオン T.I.

初参加、今までは客席からの舞台のみでしたが、舞台には色々な仕掛けや、テープが床に張られていて舞台が暗くなっても小道具の配置がしっかり出来る様に配された一つの舞台を送り上げて行くことの大変さがひしひしと心に迫って参りました。やはりそれに答える事は会場をいっぱいにして、舞台と観客が張りつめた心に感動が伝わるのだと思いました。

舞台から客席は良く見える事に驚きました。観る態度も気をつけましょう。

初めての放送係

四ツ葉のクローバー 向坂康代

初めて放送係という大役？をやる事になって、一瞬「えっ？」と思いました。劇団の方に説明して頂き、いざマイクに向って原稿を読み出したら、少しはつつかかったけれど、どうにか落ち着いて読み終える事が出来ました。

開演前の舞台裏の緊張した雰囲気や味わえる事が出来、貴重な体験をさせて頂いたと感謝しています。

今まで、受付やパンフレット売り等した事がありますが、次回は又他のお手伝いもさせて頂こうと思います。

小夜食作りはお得？

トモダチ 石川ひとみ

今回、仕事の休みが取れなかったら当日の運営参加が無理かもと思っていたところ休みが取れ、急遽小夜食作りに参加しました。おにぎり、炊込み御飯、けんちん汁、豚の紅茶煮等をメインにお汁粉、和え物等を作りました。

水屋で洗い物をしていると、役者の皆さんとも会え、スタッフの



皆さんからは「ロビー」弁当が多い中で、手作りの食事が食べられる事はとてもうれしいの声も聞け、小夜食係ってちょっとお得!?。次の運営サークルの皆さんぜひご参加を!!

新しい体験は脳を活性化します

スコープオン5 佐藤

運営担当ということで、今回は特にいろいろな方に声を掛けてみました。趣味を同じくする人、時々お茶を一緒にする人、退会した人等々。良いお返事をいただいた方や次回につながりそうな方もあって、でもあんまり押ししてもいけないしと、お芝居を見続けてこそと思うので気長にお話ししていきたいと思っっています。

そして今回は時間があつたのでいろいろの係を体験したことで新しい体験をしました。何事もマン慣れです。

搬入では自分の運んだ道具類がどんな風に舞台上で生かされて行くのか興味津々でした。若い俳優さんたちも手伝っていて、観劇中に親しみを持ってました。



「ロビー」交流会

左の写真は1/18(金)終演後にロビーで行われた交流会の「コマ」です。ロビー交流会とは運営サークルと劇団の俳優さんたちが直接交流できる鑑賞会ならではのお楽しみです。今観たばかりのお芝居の中で熱演していた役者さんが手の届くところで運営サークルのために自己紹介や今回の舞台のことも中心とした話しなどを生で語ってくれる瞬間です。こんなおいしい機会はなかなか味わえるものではないかもしれません。そして我々からも新鮮な感想を述べたり、特異な質問をしたりして交流を深めることができます。舞台の顔と違った役



ロビー交流会

者さんたちは本当に気さくで鑑賞会を愛してくれていると感じることがができます。あつと言う間の短い時間ですが、とても印象的で思い出に残る取り組みです。

97歳の新入会

「天国までの百マイル」運営担当のゆみはりサークルは、3名の新入会員を迎えました。その内の一人は何と97歳です。(写真中央)50代〜70代の会員数が77%を占め高齢化が言われていますが、それよりも20才も歳を重ねた人生の大先輩の入会に、運営サークルはおおいに励まされました。「もう年だから…」は暫くお預けですね。



↑ 97歳新入会員 星野さか江さん

～ 新入会を迎えたサークル～

数字は入会者数、太字は運営サークルです。

枝折戸	4	1	かんのん	1	堪忍袋	1
G B E	2		ドリーム	2	スコープオン	3 5
つげの	1		森の会	3	すこやか	1
豊橋演劇塾	1		ゆみはり	3	虹の会	1
とんぼ	1		天伯	1	ルームサービス	1
土筆	1		T シャツ	2	オーム	1
わんだーらんど	1		チェリーズ	1	スコープオン	5 1
キャッツ	2		まんさく	1	歳	1
イスクラ	2	2				

運営サークルのまとめ



文化座公演 「天国までの百マイル」

第1回運営サークル会

10月9日(火)22サークル29名(参加率37%)の参加で運営サークル会をスタートしました。①運営サークルとは何をやるどころか

②サークル紹介、自己紹介 ③作品紹介 ④例会日程の確認と次回運営サークル会と演劇講座参加への呼び掛け ⑤新入会のお誘いの目標 ⑥シール作りや会報、運営委員選出という内容で話し合いをしました。一回目は特に重要な会であるため過半数以上のサークル参加を目指しましたが、結果として37%にとどまったのが最後まで響きました。しかし昼の部は参加も多く活気があり充実していた

と思います。課題は夜の部の充実であることは近年の運営サークル会のテーマかもしれません。もう一つサークル作りに関して、サークルの構成図を描いてそこから根分けやサークル化への取り組みを考えてみる提案をしていきました。サークルを知ることで、根分けを考える具体的な手立てとして10例会連続のサークルクリアへの足掛かりにはなりました。

第2回運営サークル会

11月9日(金)27サークル34名(参加率46%)の参加で恒例の演劇講座と第2回運営サークル会を行いました。講座では城所きぬ江役の有賀ひろみさんをお迎えして、有賀さんの波瀾万丈の俳優人生のこと、お師匠であられた鈴木光枝先生のこと、そして今回のお芝居の見方や見所、苦労話などユーモアも交えながら分かり易く語って戴きました。サークル会では有賀さんの話を聞いての感想を語り合いながら、今後の運営サークルがめざすものについて確認していきました。事前の呼び掛けもあり複数で参加するサークルが増えて来ていることはサークルを増やす取り組みの現れだと思われまます。より活発化することにより、充実した運営サークルへ進化できるのではないのでしょうか。

第3回運営サークル会

11月29日(木)20サークル25名(参加率34%)の参加で行われました。前例会「おれ天」が終わって間もない時でしたので、感想を語り合いながらいよいよ今度は自分達の担当例会だという意識が高まりました。特に新入会を迎える取り組みとして「会員の声」をチラシに添えて入会のお誘いチラシと併せて訴えていこうという案もできました。なかなか成果がでないことが多いが最後まで諦めないで声をかけていこうという確認がされました。

第4回運営サークル会

12月19日(水)17サークル18名(参加率29%)の参加でした。この時点での会員数の動きは入会13名、予約8名、退会59名でした。この状況をどう乗り越えたらよいか？総会員数でも2千を割っていた

第5回運営サークル会

ため、年内での2千名回復、年明けには前例会クリアに向けて、年末年始での出会いの機会をふるに生かしながら声かけをし、1月5日の新年会に参加していこうと確認をしました。また例会日の行事や担当も表の空きを確認しながら埋めていきました。欠席したサークルへは後日現状報告とサークル1名クリアの訴えをしていきました。よってその後のがんばりで年内は合計29名の新入会を迎えることができました。

リア達成できました。何とか2千名はキープしましたが、厳しい数字を残してしまいました。まとめの会の話しは感想が中心です。いつの時もお芝居の感想は盛り上がりまます。それは鑑賞会の醍醐味と言えます。良かったことも良くなかったことも楽しく語り合うのがこの会の良いところだと思います。最後に運営の感想なり反省をします。勿論、前例会クリアできれば、その苦労は忘れるくらいですが、できなかった時でもまた次回頑張ろうと言って来年度の再会を楽しみにします。鑑賞会での出会いは一般の社会では味わえないもつと違う生き方(スロライフ)の可能性や楽しさを発見できるところだと思います。

G B E 加藤

運営委員

- 後藤 一男 (スコピオン3)
- 後藤 智代 (スコピオン3)
- 稲垣 時枝 (スコピオン)
- 佐藤 章子 (スコピオン5)
- 萩本 匡史 (よせなべ)
- 及部千代乃 (ゆみはり)
- 加藤 慶吾 (G B E)
- 内藤 幸子 (堪忍袋)

サークル・会員数

11月「おれたちは天使じゃない」2,024名
1月「天国までの百マイル」2,003名
入会38名 退会59名 -21名
(+6サークル -5サークル 316サークル)
(新サークル1 根分けサークル4 サークル化1)

運営サークルの活動

運営希望サークル 59サークル
参加サークル 50/59サ 85%
入会を迎えたサークル 15 59サ 25%
入会数 28 38名 74%

例会参加状況

1/18(金)ヨル 601名
1/19(土)ヒル 748名
ヨル 328名
計 1,677名
参加率 83.7%

運営サークル会の日程

3月「嫁も姑も皆幽霊」

第5回運営サークル会

4/4(金) 2:00～と7:00～

5月「足摺岬」

第2回運営サークル会

(演劇講座)

ゲスト：俳優 遠藤 剛さん

4/9(水) 2:00～と7:00～

第3回運営サークル会

4/22(火) 2:00～と7:00～

第4回運営サークル会

5/8(木) 2:00～と7:00～

第5回運営サークル会

5/28(水) 2:00～と7:00～

(運営サークル会には、代表者だけでなく、各サークル複数で参加しましょう。)

2008年度の最初を飾る例会は劇団俳優座の代表である浜田寅彦主演の「足摺岬」です。

田宮虎彦の原作を現代に投影し、人間の再生をテーマにした感動のドラマとして蘇りました。

劇団俳優座として協力して、サークル数、会員数を減らすことなく例会を成功させていきましょう！

5月例会「足摺岬」の運営サークルのみなさん

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
サンドイッチ おかめ会 翼 バイオレット 藤	ハタハタ ルージュ たなご しずく くまちゃん カタクリの花 三 鈴 ゲンノショウコ ねむの木 みゆき すずかけの木 めぐる季節 おせき飯 忍 冬 HOO ぎゃらりー亜紗 とんぼ とんぼ玉	北 斎 池のこい ころころ ポインセチア さあやるぞん トリオ藺々 紫陽花2 よもぎ 四ツ葉のクローバー オリオン でしべる	だいこんの花 ノアの方舟 みと小径 ばすてる 赤ずきん4 あられ みゆき会

開演5分前の中央づめについて

* 舞台と観客の客席を緊密にして観劇しましょう。

開演5分前の1ベルの後、運営サークルの指示で、会場中央に向かって座席の横づめをします。

* 開演に遅れた方は、2階席へ。

休憩後は指定座席の「列」の空いた席に詰めてすわりましょう。

例会場内での飲食・喫煙、および写真撮影はできません。

例会場内では、携帯電話、アラーム時計等々の電源をお切り下さい。会員みんなで気持ちよく観劇できるように、協力しましょう！

鑑賞会活動日程

「足摺岬」観劇希望日〆切日

4/15(火)

「足摺岬」座席シール渡し期間

4/26(土)～5/2(金)

「足摺岬」例会日(2ステージ)

5/23(金)		(ヨル)6:45～
5/24(土)	(ヒル)1:30～	

「嫁も姑も皆幽霊」後の退会手続き期間

3/31(月)～4/7(月)

中部・北陸ブロック活動日程

4/26(土)・27(日) ブロック活動交流集会

例会の感想や運営についてのご意見をどんどんお寄せ下さい。

☪ 豊橋演劇鑑賞会のメールアドレス ☪ enkan76@mx2.tees.ne.jp